実態(課題)の把握

(1)体力調査結果等から

4年度 全体 A20.7% B35.6% C31.3% D10.3% E2.2% 5年度 全体 A30.6% B30.9% C25.6% D10.4% E2.5%

- ・全体的にA群の割合が大幅に増え、AB群の割合が増えた。
- ・項目別にみると、握力、50m走、20mシャトルランの底上げが必要。
- ・コロナ禍の影響を受け、全身持久力、筋力の落ち込みがみられた。
- ・運動が好きと答える生徒が男子は93%で、女子は80.4%と高い数値であった。
- (2)生活習慣調査等から
 - ・長期休業中に「運動取組カード」を実施し、運動に取り組むきっかけづくりに つなげることができた。
 - ・朝食の摂取率は97%と高い水準にある。
- (3)特徴的な様子から
 - ・部活動に所属していない生徒及びスポーツクラブ等にも所属していない生徒に対して 運動機会の場を提供すると素直に運動に取り組むことができるので、委員会活動として昼休みのクラス遊びを取り入れる。

	て昼休みのクラス遊びを取り入れる。
1	(「あ・じ・み・そ」のレベルアップ
重点	〇自分の心身の健康や安全を守るために努力する能力を育てる。
目	〇7時間睡眠・朝食摂取を心掛ける生徒の育成。
標	
2	○運動が「好き・嫌い」の「好き」と答える生徒の割合を90%以上にする。
達	〇新体カテストのABC群の合計割合を88%以上にする。
成 指	〇「7時間睡眠・朝食摂取を心掛けた」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
標	
3	○種目に応じた体つくり運動(柔軟性・巧緻性や力強い動きを高める運動、持久的
重	な運動)を組み合わせバランスよく体力を高める取り組みを行う。
重点	〇年に1度各学年クラスマッチを計画し、運動に親しむ機会を設ける。
的	〇家庭でも簡単に取り組める運動取組カードを活用し、家庭と連携した取り組み
取	を継続的に行う。
組	○個人データーを分析させ、補強運動の計画を立てる
4	○新体カテストの計測で終わることなく年間を通した体力づくりを行う。
取	・新体カテスト終了後、年3回記録の推移状況の情報発信(すぐ―る配信)

プランの検証と改善(検証頻度と検証方法)

体力測定とプランの検証を行い、職員会議において全教職員に周知を図る。

を行う。(握力・20mシャトルラン)…本校の課題種目

- 保体部を中心に、養護教諭や部活動顧問教師などとの連携を図る。
- ・年間を通した体力向上を目指し、どれだけ数値が伸びたか確認する。HPを活用し、家庭への情報発信を行う。

○各自が作成した補強運動の計画をもとに、個に応じた補強運動を実施する。

【一校一実践タイトル名と取組内容の概要】

タイトル名

組指

標

あじみそ+ABCの定着で、心と体の基盤づくり!

- ・各自が作成した補強運動計画を活用し、長期休業や土・日に弱点補強を意識しながら、運動に 取り組む習慣づくりを図る。
- 運動への取り組み状況を学級担任にも把握してもらい、家庭学習同様、家庭での自主的な 運動習慣を継続させていく。
- ・学期に1回「みんな遊び」として、外遊びの機会を昼休みに設ける。